

あいさつ



愛西市議会議長
杉村 義 仁

新年あけましておめでとございます。市民の皆様方におかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。年頭にあたり、市議会を代表し、謹んでご挨拶を申し上げます。また、日頃から議会運営に対し、多大なるご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、日本をはじめ世界各地で猛威を振った新型コロナウイルス感染症が、国内において感染症法上で2類相当から「5類感染症」に移行されました。それまでは、非常事態宣言などによって様々な制限がありました。昨年度からは各種イベントや皆様の活動が再開し、コロナ以前の活気が戻ったように感じられ、喜ばしい限りでございます。

しかし、コロナ感染症の脅威が無くなったわけではありません。依然として感染力は高く、軽症で済まないケースもあると聞き及んでおります。十分な感染対策を行っていただいたうえで、



愛西市長
日 永 貴 章

あけましておめでとございます。皆様におかれましては、令和6年の新春を清々しい気持ちでお迎えのこととお喜び申し上げます。旧年中は、市政に対し格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は、日常生活に多大な影響を及ぼしていた新型コロナウイルス感染症の感染症法の位置づけが5類に変更され、蓮見の会やあいさいさん祭りなどの行事やイベントが通常どおり開催できるようになるなど、まちに賑わいが取り戻された一年だったのではないのでしょうか。

一方で、国際的な原材料価格の上昇や円安があいまった輸入物価の上昇に端を発する物価高の継続は、今もなお市民の皆様の生活を圧迫し、回復に伴う生活実感の改善を妨げています。

このような状況を踏まえ、本市では、市民の皆様や事業者への支援を継続してまいります。未だ先行きが見通せない状況ではありますが、アフターコロナの時代を見据えた、誰もが安心して暮らすことのできるま

ちづくりに取り組んでまいります。

また、市のスポーツ拠点として立田総合運動場を再整備し、2月には「愛知県フットボールセンター愛西」と名称を新たにオープンします。さらに、市の魅力発信・農業振興の一翼を担う道の駅と都市公園の整備について、令和8年度のグランドオープン、令和7年度の農産物直売所など一部施設のオープンに向けて着実に取り組んでまいります。

本年は、市制19年を迎えます。20周年の節目を控える中、新たな施設のオープンに加え、市民の皆様との協働・共創により、市全体でまちの魅力と賑わいをさらに高めてまいります。そして、本市の将来像であります「ひと・自然愛があふれるまち」の実現に向け、次の新たな一歩に向けた取組につなげてまいりますので、引き続き皆様のご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年が、皆様にとって健康で幸せな年となりますよう心よりお祈り申し上げ、年頭の挨拶とさせていただきます。

それぞれの活動を楽しんでいただきたく存じます。

本市議会においては、中学生体験学習事業として市内中学生が行った東北地方へ、昨年10月に議員も現地視察をしました。震災遺構や復興状況、防災の取り組みなど様々な観点から貴重な経験ができ、東日本大震災の被害の甚大さを痛感するとともに、中学生体験学習の重要性を再確認しました。また、今までの大規模災害においても自助・共助が多く命を救っているように、地域の助け合いが大切であるといわれています。この視察を通じて、その啓発の必要性を強く感じております。

結びに、新しい年が市民の皆様方にとって幸多き一年となりますことを心よりご祈念申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。